

多摩市パートナーシップ制度

多摩市は、すべての人がSOGIEにかかわらず住みやすく暮らしやすいまちの実現を目指しています。みんなが自分らしくいきいきと生きるための方法の一つとして、令和4年2月1日から「多摩市パートナーシップ制度」を始めました。

この制度は、法律上同じ性別であることなどを理由に結婚ができない二人の関係を「パートナー」として市が認める制度です。この制度の目的をたくさんの人に理解してもらおうことで、SOGIEに対する誤解や差別を減らすことを目指しています。

制度について詳しくは多摩市公式ホームページ(<https://www.city.tama.lg.jp/0000014487.html>)をご覧ください。



家族であることを証明できないと、「病院で面会させてもらえない」「一緒に暮らす家を借りることができない」「避難所にきているか教えてもらえない」など、辛い目にあうことがあるニャ。いろいろな家族の形があることを知ってもらえれば、もっとみんなが暮らしやすいまちになるニャ!

考えてみよう



LGBTQ+の人たちは、他にどんなことで困っているのか考えてみよう。
参考：LGBT法連合会ホームページ

<https://lgbtetc.jp/>

調べてみよう



他にパートナーシップ制度を導入している自治体がどのくらいあるか調べてみよう。自治体ごとに、制度にどんな違いがあるだろう？


不安な気持ちやもやもやした気持ちを誰かに聞いてほしいときは、お話しできる場所があります。一人で悩まず、まずは話してみてください。

友達に相談されたけど、どうすればいいかわからない…



スカート(ズボン)が嫌だ…

好きな人の性別がみんなと違う…

相談窓口	電話番号など	受付日時
多摩市 LGBT電話相談	042-355-2112	毎月第3火曜日 偶数月：14時～18時 奇数月：16時～20時 (祝日・年末年始除く)
東京都 Tokyo LGBT相談 専門電話相談	050-3647-1448	毎週火曜日・金曜日 18時～22時 (祝日・年末年始除く)
東京都 性自認及び性的指向に関する専門LINE相談 (LGBT相談@東京)	下の二次元コードを読み取る、またはLINEの「公式アカウント」から、「LGBT相談@東京」で検索し登録 	毎週月曜日・木曜日 17時～22時(受付は21時30分まで) (祝日・年末年始除く)
よりそいホットライン (セクシュアルマイノリティ専門ライン)	0120-279-338 (ガイダンスの後「4」を押すと、セクシュアルマイノリティ専門ラインにつながります)	24時間365日

えるじーびーていーきゅーぶらす

LGBTQ+、 SOGIE



ってなんだろう？

～すべての人が住みやすく暮らしやすい社会を目指して～



©多摩市



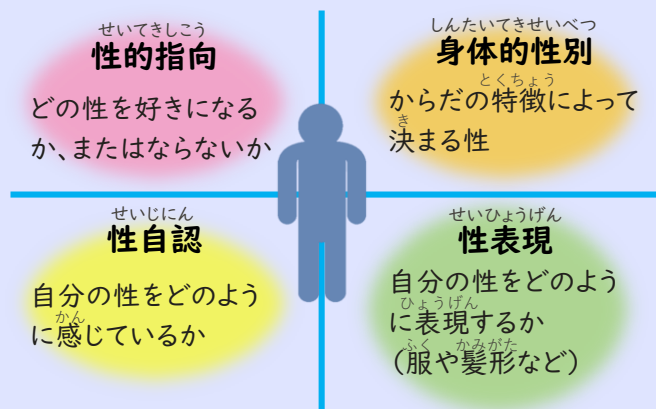
たましへいわ じんけんか
多摩市平和・人権課
多摩市関戸4-72ヴィータ・コミュニネ7階
TEL：042-355-2110 FAX：042-339-0491

もんだい かんけい
問題です。この二人の関係は？



この二人の関係は会社の仲間かもしれないし、パパ友かもしれないし、学生時代の友達かもしれないし、近所さんかもしれないし、子どもを育てる同性カップルかもしれないし、大切なのは、自分の思い込みで決めつけないことです。このことが、一人ひとりの違いを認め、お互いを大切に思いうるための第一歩です。

性のあり方を決める4つの要素



この4つの要素はみんなが持っている、いろいろな組み合わせがあるんだニャ！

考えてみよう



4つの要素には、どんな組み合わせがあるか考えてみよう。自分はどんな組み合わせだろう？

LGBTQ+ってなに？

LGBTQ+は、L(レズビアン)・G(ゲイ)・B(バイセクシュアル)・T(トランスジェンダー)・Q(クエスチョニングまたはクィア)の頭文字と、「+」(それらに当てはまらない多様な性)を組み合わせたもので、多様な性のあり方を表す言葉として、日本だけではなく世界中で使われています。

- レズビアン: 同性が好きな女性
- ゲイ: 同性が好きな男性
- バイセクシュアル: 同性も異性も恋愛対象になる人
- トランスジェンダー: 生まれた時に決められた性別に違和感がある人
- クエスチョニング(クィア): 自分の性が分からない、決めたくない

日本では、LGBTQ+の人の割合は11人に1人(8.9%)とされています(電通ダイバーシティラボ「LGBTQ+調査2020」より)。

SOGIEとは

性のあり方を決める要素のうち、性的指向(Sexual Orientation)、性自認(Gender Identity)、性表現(Gender Expression)の頭文字を取って、まとめてSOGIEと言います。特定の人を示すLGBTQ+とは違い、SOGIEはすべての人が持っている要素です。そのため、LGBTQ+の人々との垣根を作ることを避けるために、SOGIEが使われることがあります。



「誰を好きになるか、ならないか」「自分の性をどう感じるか、どう表現したいか」を決めることができるのは、本人だけなんだニャ！

調べてみよう



LGBTQ+の社会運動でよく「レインボーフラッグ」が使われるのはなぜだろう？使われているのは何色かな？

友達から相談されたときは？

他の人に、自分がLGBTQ+であることを伝えたり、話したりすることを「カミングアウト」と言います。

カミングアウトするのはとても勇気が必要です。それでもあなたに話したということは、あなたを信じ、自分のことを知ってもらいたいと思ったからです。

友達からもしカミングアウトを受けたら、まずは「話してくれてありがとう」と伝え、なにか困っていることはないか、などを教えてもらいましょう。

ありがとう



アウティングに注意しよう！

もし友達からカミングアウトを受けたとき、その友達に黙って他の人に話してしまうことを「アウティング」と言います。

アウティングにより、カミングアウトした本人が居場所をなくし、最悪の場合は死に追いやられてしまう可能性もあります。カミングアウトを受けたら、必ず本人に「誰に伝えているか、誰に伝えてよいか」を確認するようにしましょう。

もしカミングアウトを受けてどうしたらよいか分からなくなってしまった場合は、一人で抱え込まず、裏面に載っている相談機関などに相談しましょう。

相談機関の人に話すことは、アウティングにはならないニャ。秘密は絶対に守られるので、いつでも気軽に相談してほしいニャ！

考えてみよう



安心してカミングアウトできる環境をつくるために、大切なことはなにか考えてみよう。

